

## 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年 4月19日（火）

2 調査対象 第6学年児童16名

### 3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### 4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回っていました。  
算数は、全国平均を下回っていました。  
理科は、全国平均を下回っていました。

(2) 児童質問紙調査

#### 成果が見られた項目

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていましたか。

#### 課題が見られた項目

- 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
- 新聞を読んでいますか。

### 5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語の「読むこと」「選択式問題」、算数の「A数と計算」「Dデータの活用」「記述式問題」、理科の「地球を柱とする領域」に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ① 根拠を明確にして自分の考えを書き、考えを広げたり深めたりする話し合い、学び合い活動を充実させる。
  - ・自分の考えを書くことができるようにするために、授業の中で書く時間を確保する。
  - ・帰りの会で「100字作文」を実施し、書くことへの抵抗を減らすとともに、条件に合わせて書く力をつける。（キーワードを使う・文末を指定してまとめる・決められたテーマについてまとめる等）
  - ・話し合いや学び合い活動の目的が明確になるような発問、指示を出し、子どもの学びを生かした授業のまとめを行う。
- ② 個の習熟に応じた適用問題に取り組む時間を確保し、基礎基本を確実に身に付けさせる。
  - ・教科書、ドリル等を活用した適用問題の他、ICT機器を活用して個の習熟度に応じた学習に取り組ませる。
  - ・「振り返りの視点」に沿った書く振り返りの時間を確保し、学んだことを自分の言葉でまとめさせる。

### 6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・年度初めに配付した「上真野小学校 家庭学習の手引き」（保護者用・児童用）の内容を確認し、家庭の中で集中して学習できる場所や周りの環境づくりに取り組む。
- ・お子さんの頑張りを認める声かけや励ましを行い、家庭学習カード（ファイル）の記入を行う。

○家庭生活について

- ・規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）ができる習慣を身につけさせる。
- ・ゲームやスマートフォン、タブレットなどの使用時間の約束を決め、適切な使用ができるようにする。
- ・ネットモラルについて家庭で話し合う時間を作る。
- ・家族で読書をする習慣をもつ。親子で市立図書館を積極的に利用する。（月1回以上）
- ・新聞を読んで、記事について家族で会話をする習慣をつくる。

○地域行事等への参加

- ・地区の行事への子どもたちの積極的な参加を促す。  
（子ども会、花植えボランティア活動、神社の例大祭、収穫祭等）
- ・地域の方々に見守られ、愛されている実感をもたせ、地域への愛着心を育成する。